



取扱説明書

AP 背負式噴霧機



- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解してから、お使いください。

1. 取扱説明書について

- この度は、アストロプロダクツ製品をお買上頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、安全にお使い下さいますよう、お願いいたします。
- 当社の許可なく、取扱説明書の内容全部、または一部を複製・改修し、無断で転載することは禁止されています。
- 安全上の注意や製品仕様などは、予告なく変更される場合があります。そのため、お客様が購入された製品と、取扱説明書に記載された内容が、一部異なる場合がありますので、ご了承ください。

2. はじめに

- この取扱説明書、および製品本体に貼り付けられたラベルは、安全に関わる重要な注意事項を、警告・注意のマークを使用し表現しています。製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。
- 本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている各項目をよく読み、理解し厳守してください。取扱説明書をなくしたり、汚したりせず、使用者が任意に読むことができるよう、大切に保管してください。
- 注意・警告事項の意に反して安全義務を怠り、規定外の使用による機器の破損やケガなどに関しては、当社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■安全に関する表示について



危険

この表示内容を見逃し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの重大な傷害を負う危険が差し迫った状態を示しています。



警告

この表示内容を見逃し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの重大な傷害を負う可能性を示しています。



注意

この表示内容を見逃し、誤った使い方をすると、人的障害、および製品の故障や、その他、物的損害が発生する可能性があることを、示しています。

重要

この表示内容は、製品を正しくお使いいただくため、守っていただきたい、重要な注意事項を示しています。

3. 目次

●4. 安全に使用していただくために	P 5
・ 危険	P 5
・ 警告	P 8
・ 注意	P 10
・ 禁止薬剤	P 11
●5. 製品特徴	P 11
●6. 製品仕様	P 11
●7. 各部名称	P 12
●8. 組み立て	P 13
・ 8-1. 各部の組み立て	P 13
・ 1. ノズルパイプ	P 13
・ 2. 各ホルダー	P 13
・ 3. ノズルの交換	P 14
●9. 使用方法	P 15
・ 9-1. 使用前準備	P 15
・ 1. 作業環境	P 15
・ 2. 使用準備	P 15
・ 3. 使用前点検	P 15
・ 9-2. 薬液取り扱いの注意	P 16
・ 9-3. 薬液の投入	P 17
・ 9-4. 噴霧作業	P 18
・ 1. ベルトの調整	P 18
・ 2. エア抜き	P 19
・ 3. レバーコック操作	P 19
・ 4. 噴霧操作	P 20
・ 9-5. 洗浄	P 20
●10. メンテナンス・保管	P 21
・ 10-1. メンテナンス	P 21
・ 10-2. 保管	P 21
・ 1. 保管場所	P 22
・ 2. 保管条件	P 22

3. 目次

- 1 1. トラブルシューティング P 2 3
- 1 2. 破棄について P 2 4
- 1 3. 所有者・使用者責任 P 2 4
- 1 4. 使用上の注意 P 2 4
- 1 5. 故障について P 2 4
- 1 6. アフターサービス P 2 5
 - ・ 1 6－1. 個人情報の取り扱い P 2 5
 - ・ 1 6－2. お問い合わせ先 P 2 5
 - ・ 1. カスタマーサービス P 2 5
 - ・ 2. 販売元 P 2 5

4. 安全に使用していただくために



危険

■使用条件

- 警告や注意事項をよく守り、安全に配慮し操作してください。
 - ・取り扱いを誤ると、重大な事故につながります。
- 修理技術者以外の方は、本取扱説明書に記載されていない、本体の分解、修理、改造はしないでください。
 - ・異常作動し、事故の原因となります。
- 以下に該当する方は、本製品を使用しないでください。
 - (1) 酒気を帯びた者
 - (2) 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により、正常な作業ができない者
 - (3) 妊娠中の者
 - (4) 負傷中の者、生理中の女性など農薬の影響を受けやすい者
 - (5) 幼児や子供
- 薬液の吸入や付着を防ぐため、以下の服装を着用し、作業してください。
 - ・帽子の着用
 - ・保護メガネの着用
 - ・防塵・防護マスクの着用
 - ・不浸透性手袋の着用（手袋の中に薬液が入らないよう、防除衣の袖を被せます。）
 - ・ゴム長靴の着用（長靴の中に薬液が入らないよう、防除衣の裾を被せます。）
 - ・不浸透性防除衣の着用

■薬液の取り扱い

- 薬剤については、薬剤の取扱説明書をよく読み、内容を十分に理解したうえで、使用してください。
 - ・取り扱いを誤ると、薬害などの重大な事故の原因となります。
- 薬液は、絶対に別の容器に移し替えないでください。
 - ・誤飲、誤使用の恐れがあり、非常に危険です。
- 調合する際は、必ず薬剤の取扱説明書に従い、正しく希釈してください。
 - ・調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがあります。
- 強酸性の薬剤・塗料・シンナー・ガソリン・などは、絶対に使用しないでください。
 - ・ヤケドや火災の恐れがあり、非常に危険です。
- 薬液は、必ず他の容器で調合してから、容器に投入してください。
 - ・薬液の散布濃度が不均一になり、薬害を生じる恐れがあります。

4. 安全に使用していただくために



危険

■薬液の取り扱い

- 必ず、前の薬液を完全に抜き取り、水洗いしてから、新しい薬液を入れてください。
 - ・薬液を混ぜると、化学変化をおこす恐れがあり、非常に危険です。
- 薬液が皮膚についた場合は、薬剤の取扱説明書に従い、適切な処置を施し、必ず医師の相談を受けてください。
 - ・薬液が皮膚につくと、人体に害を及ぼすことがあり、大変危険です。

■作業時

- 作業中に、少しでも頭痛やめまい、吐き気などを感じたら、直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。
 - ・医師には、使用した薬剤や使用状況を、詳しく説明してください。
- 薬液噴霧時は、ノズルを人や動物に向けないでください。
 - ・衣服や身体に薬液が付着する恐れがあり、非常に危険です。
- 水道、河川、池、などを汚染しないよう、作業してください。
 - ・環境に害を及ぼすことがあり、大変危険です。
- 人体や噴霧対象以外のものに掛からないよう、周囲の状況を十分確認しながら作業してください。
 - ・人体に害を及ぼすことがあり、大変危険です。
- 風が強い場合は作業を中止してください。
 - ・薬液は周辺に飛散する恐れがあり、大変に危険です。
- 作業中は常に風向きを考え、風上から風下に噴霧してください。
 - ・衣服や身体に薬液が付着する恐れがあり、非常に危険です。
- 薬液を入れた状態で、タンクを必要以上に傾けたり、倒さないでください。
 - ・薬液が漏れ出る恐れがあります。
- ハウス内では、必ず換気してください。
 - ・霧状の薬液が充満し、非常に危険です。
- 炎天下の屋外で使用するときは、こまめに休憩や水分補給してください。
 - ・熱中症の恐れがあり、非常に危険です。
- 作業中は、飲酒・飲食・喫煙をしないでください。
 - ・思わぬ事故の原因となり、大変危険です。
- 長時間の作業を避け、なるべく作業者を交代してください。
 - ・過労により、正しい判断ができず、重大な事故の原因となります。

4. 安全に使用していただくために



危険

■作業後

- 水で洗い流してから防除衣を脱いでください。
 - ・付着した薬液が、皮膚に付く危険があります。
- 作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。
 - ・薬液が付着した衣服を着用することは、人体に害を及ぼすことがあり、大変危険です。
- 全身を石鹸でよく洗い、目の洗浄と、うがいをしてください。
 - ・人体に害を及ぼすことがあり、大変危険です。
- 機材を清水で噴霧・洗浄し、タンク内の水を抜いてください。
 - ・他の薬液が混ざると、大変危険です。
- 使用後や薬液を変えるときは、タンク・ノズル・ホースなどの内部を、十分に洗浄してください。
 - ・薬液が残っていると、薬害を起こす危険があります。

■保管

- タンク内に薬液を入れたまま、保管しないでください。
 - ・使用後は、タンク内の薬液を抜き取り、十分に洗浄してください。
- 薬剤は有害です。幼児や子供が触れないように保管してください。
 - ・保管については、薬剤の取扱説明書に従ってください。
- 飲食物を、薬剤や本製品と同じ容器で保管しないでください。
 - ・飲食物が汚染され、薬害事故を引き起こす恐れがあります。

■運搬

- 薬液を入れたまま、自動車などに載せて運搬しないでください。
 - ・転倒して、薬液が漏れ出る恐れがあります。

4. 安全に使用していただくために



警告

■使用条件

- 必ず、取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから使用してください。
 - ・使用方法が不明な場合は、使用せずにお買い求めの販売店へ、相談してください。
- 使用前には、以下を点検してください。
 - (1) 接続部のパッキンに脱落がないか
 - (2) ノズル、ノズルパイプに損傷・破損がないか
 - (3) ホースに亀裂・摩耗・破損がないか
 - (4) タンクに亀裂、破損がないか
 - (5) ポンプの作動状態
 - (6) 各ネジ部に緩みがないか
 - (7) 背負いベルトに損傷・破損がないか
 - (8) ハンドル・可動部に損傷・破損がないか
- 本体に異常が確認された場合は、使用を止めてください。
 - ・お買い求めの販売店へ、相談してください。
- 純正部品以外、取り付けないでください。
 - ・作動不良や、思わぬ事故の原因となります。
- 長髪の方は、束ねたり、帽子を着用してください。
 - ・髪が周囲に引っ掛かる恐れがあります。
- ネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
 - ・周囲に引っ掛かる恐れがあります。
- 体に合った衣類を着用してください。
 - ・サイズの極端に大きい衣服・ズボンなど、周囲に引っ掛かる恐れがある衣服や作業服は着用しないでください。
- 本製品を、他人に貸すときは、必ず取扱説明書も一緒に渡してください。
 - ・誤った使用により、ケガや事故の原因となります。
- 警告・注意ラベルを、汚したり、剥がしたりしないでください。
 - ・誤った使用により、ケガや事故の原因となります。
- 本製品は、防除・除草用の農園芸用薬品の噴霧を目的に作られています。
 - ・他の用途での使用は想定されていません。絶対に、目的外では使用しないでください。
- 誤った使用方法により、商品が破損・人体への損傷・物品への損害が生じた場合、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。
 - ・取扱説明書の使用方法を、よく理解してください。

4. 安全に使用していただくために



警告

■作業前

- ノズルの清掃・交換を行うときは、必ず身体と反対側に向けて取り外してください。
 - ・体に向けると、薬液が衣服や身体に掛かる恐れがあります。
- ホースやノズルの接続部を外すときは、圧力が内部に残っていないか確認してください。
 - ・圧力が残っていると、外した際に液体が噴き出る恐れがあります。
- 薬液は、正しく希釈されたものを、タンクに投入してください。
 - ・希釈が不十分な薬液は、薬害を生じる恐れがあります。
- 薬液は、必ずストレーナーを通して入れてください。
 - ・薬液に、ゴミや異物が混入していると、ノズルやホースが詰まる原因となります。
- 水和剤を使用するときは、薬剤の取扱説明書に従い、決められた倍率に希釈し、薬剤を別の容器で混ぜたうえで、タンクに入れてください。
 - ・十分に混ざっていないと、噴霧状態が悪くなる恐れがあります。
- 水和剤は、沈殿しやすいので、よく溶かしてから使用してください。
 - ・早めに散布を完了させてください。
- 薬剤を選ぶ際は、使用方法・効果を対象物に合わせ、適切な薬剤を選択してください。
 - ・不適切な薬剤選びは、十分な効果が得られなく、思わぬ事故の原因となります。
- 40℃以上の温水、発熱性の薬剤は使用しないでください。
 - ・安全性を損なう恐れがあります。
- 使用者以外、使用場所に近づけないでください。
 - ・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- 本製品は、ぶついたり、強い衝撃を与えないよう、大切に取扱ってください。
 - ・異常に気が付いた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店まで点検、または修理の依頼をしてください。
- 製品の異常を感じたら、速やかに使用を中止してください。
 - ・速やかに、お買い求めの販売店まで点検、または修理の依頼をしてください。
- 使用前には、安全に使用できる環境であることを確認してください。
 - ・周囲に人や動物がいるときは、使用しないでください。
- 砂混じりの水は使用しないでください。
 - ・ホースやポンプが故障する原因となります。
- 持ち運びの際は、持ち手を持つか、背負って運んでください。ホースやノズルパイプなどを持って運ばないでください。
 - ・各部の損傷・破損の原因となり、事故を招く恐れがあります。

4. 安全に使用していただくために

警告

■作業時・作業後

- 可動部に、手や指を挟まないよう注意してください。
 - ・ケガをする恐れがあります。
- タンクを洗浄する際は、洗剤や溶剤を使用せず、清水を使用してください。
 - ・薬液と混ざる恐れがあります。

■保管

- 使用しない場合は、施錠のできる場所に保管してください。
 - ・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- 常温で清潔な場所に保管してください。以下の場所には保管しないでください。
 - ・高温・多湿な場所
 - ・火気ある場所
 - ・ホコリが多い場所
 - ・振動のある場所

注意

■作業時

- ホースを無理に曲げたり、ねじらないよう注意して作業してください。
 - ・噴霧状態が悪化する恐れがあります。

■作業後

- 使用した容器やタンクを洗浄した廃液は、河川へ流入したり、地下水の汚染することのない場所で処理してください。
 - ・必ず、薬害のない方法で適切に処理してください。

■保管

- 冬季の保管は、必ずタンク・ノズル・ホースなどの内部の水を、全て抜き取ってください。
 - ・凍結により、故障する恐れがあります。

4. 安全に使用していただくために

禁止薬剤

●本製品は、防除・除草用の農園芸用薬品の散布用です。以下の薬剤を含む、園芸用以外の薬剤は使用できません。

- ・殺ダニ用薬剤
- ・畜産用薬剤
- ・防疫殺菌用薬剤
- ・ハエ、蚊、蜂などの殺虫用薬剤

5. 製品特徴

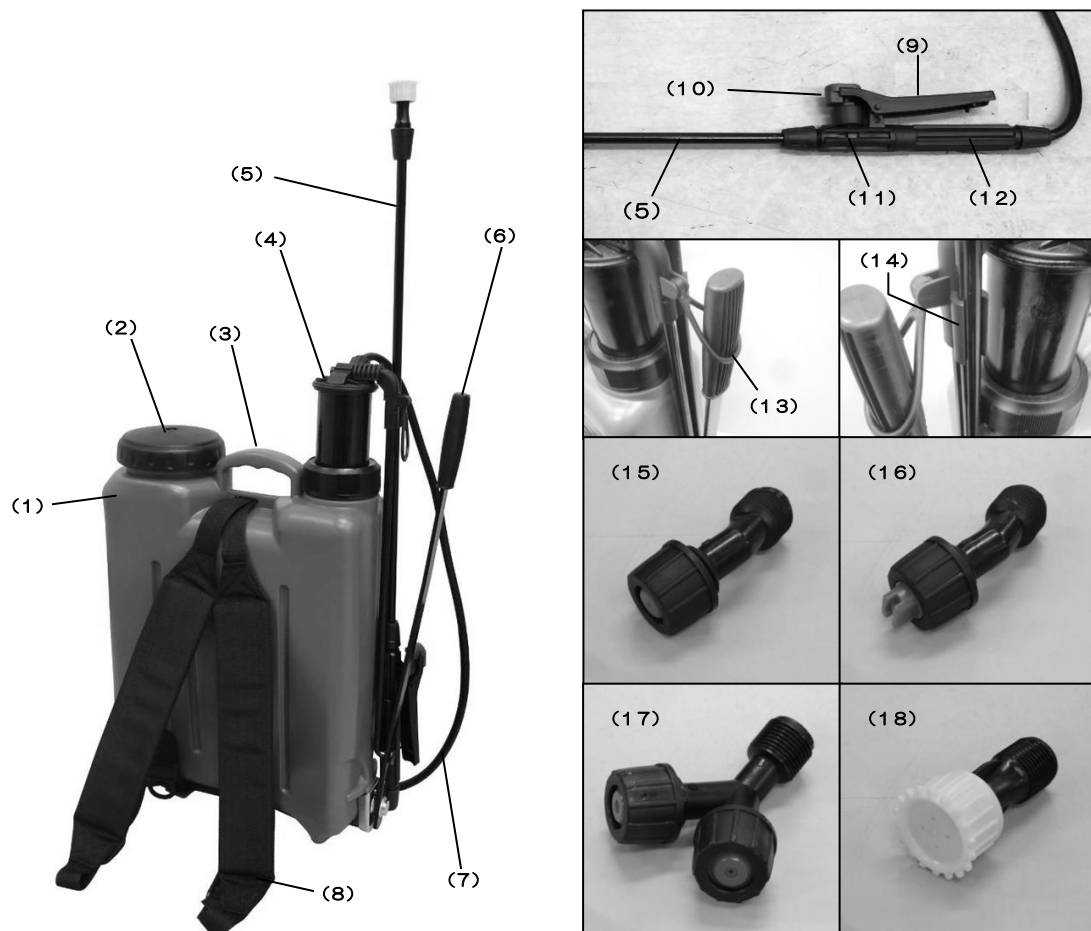
- 防除・除草の園芸用薬剤を散布する手動式の噴霧機です。
- 背負い式なので、長時間楽に作業できます

6. 製品仕様

商品コード	2016000003413	
商品型番	AP160341	
作動圧力	0.2～0.35MPa	
ホース長	約1,450mm	
タンク容量	12L	
タンク寸法	W320×D120×H470mm（ポンプ部含まず）	
重量	約2.7kg	
付属品	ナローノズル、ワイドノズル、ダブルヘッドノズル、拡散ノズル×各1	
	作動圧力	吐出量
ナローノズル	0.3～0.35MPa	0.6～0.7L/min
フラットノズル	0.2～0.3MPa	1～1.2L/min
ダブルヘッドノズル	0.2～0.35MPa	1.1～1.4L/min
拡散ノズル	0.2～0.3MPa	1.8～2.8L/min

- 製品改良のため、主要機能、および形状などは、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

7. 各部名称



No.	名称	No.	名称
1	タンク	10	ロックボタン
2	キャップ	11	ガン
3	持ち手	12	グリップ
4	ポンプ	13	ハンドルホルダー
5	ノズルパイプ	14	ノズルホルダー
6	ハンドル	15	ナローノズル
7	ホース	16	フラットノズル
8	背負いベルト	17	ダブルヘッドノズル
9	レバーコック	18	拡散ノズル

●製品改良のため、主要機能、および形状などは、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

●使用されている写真と実際の製品では、部品によって若干異なる場合があります。

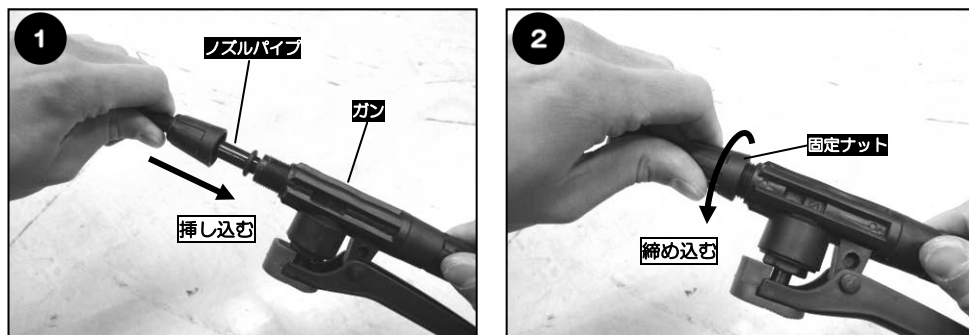
8. 組み立て

[8-1. 各部の組み立て]

1. ノズルパイプ

- 1) ノズルパイプを、ガンに挿し込みます。
- 2) 固定ナットを、締め込みます。

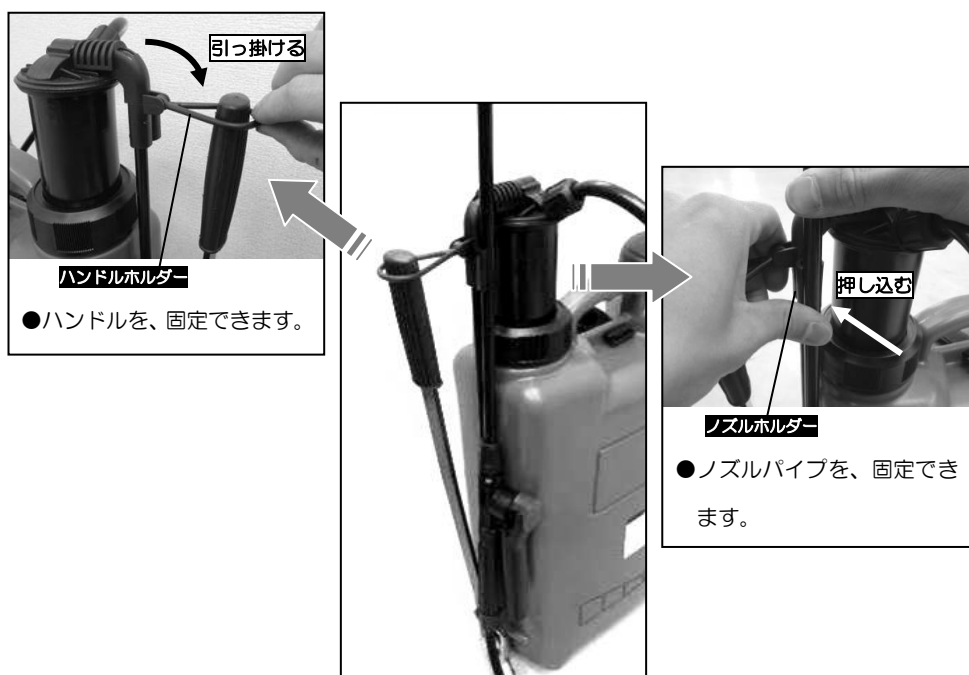
※固定ナットの締め過ぎに注意してください。



2. 各ホルダー

- ハンドル、ノズルパイプを固定します。

・作業終了後は、各ホルダーを利用し保管してください。



8. 組み立て

[8-1. 各部の組み立て]

3. ノズルの交換

- ノズルパイプ先端に、用途に合ったノズルを取り付けます。

※商品開封時は、[拡散ノズル] が取り付けられています。

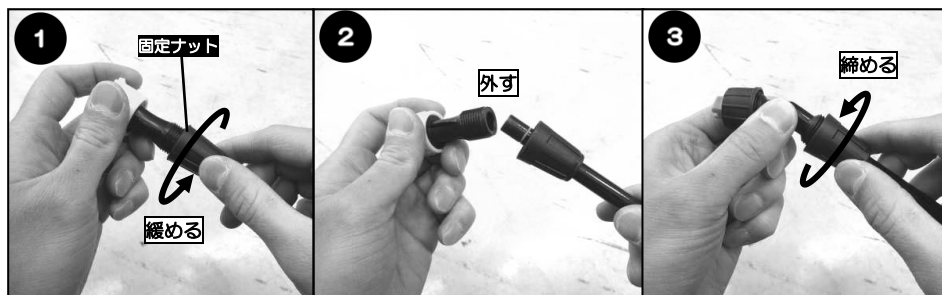
※ノズルの清掃・交換を行うときは、必ず身体の反対側に向けて、取り外してください。

※必ず、加圧されていない状態で交換してください。

【取り付け】

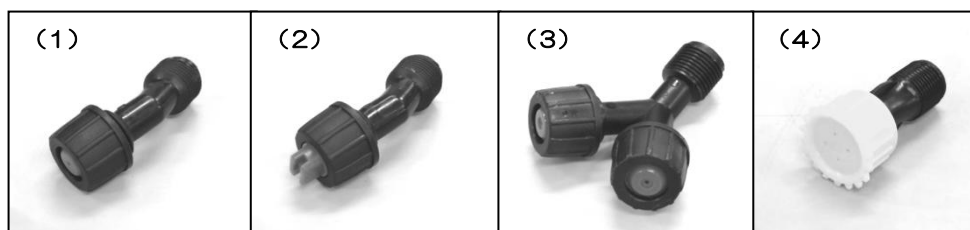
- 1) 固定ナットを緩めます。
- 2) ノズルを外します。
- 3) 使用するノズルを挿し込み、ナットを締め付けます。

※ナットの締め過ぎに注意してください。



【各種ノズル】

- 使用用途に応じてノズルを交換してください。



(1) ナローノズル：狭い範囲の噴霧に使用

(2) フラットノズル：水平に広い範囲の噴霧に使用

(3) ダブルヘッドノズル：別々の角度へ一度に噴霧する際に使用

(4) 拡散ノズル：均一に広い範囲の噴霧に使用

9. 使用方法

[9-1. 使用前準備]

1. 作業環境

- 通気がよく、換気のできる場所で使用してください。
- ハウス内では、必ず換気してください。
- 風が強い場合は、使用しないでください。
- 雨や雷など、悪天候のときは使用しないでください。
- 急傾斜や、足元が滑りやすく不安定な場所では、使用しないでください。
- ホコリが多量にある場所では、使用しないでください。
- 夜間や霧が発生し、視界が悪く、周囲の安全をよく確認できないときは、使用しないでください。

2. 使用準備

- 農薬の吸入や付着を防ぐため、以下の服装で作業を行ってください。
 - ・帽子の着用
 - ・保護メガネの着用
 - ・防塵・防護マスクの着用
 - ・不浸透性手袋の着用（手袋の中に薬液が入らないよう、防除衣の袖を被せます。）
 - ・ゴム長靴の着用（長靴の中に薬液が入らないよう、防除衣の裾を被せます。）
 - ・不浸透性防除衣の着用

3. 使用前点検

- 使用前には、以下を点検してください。
 - ※異常が確認された場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店へ、相談してください。
 - （１）接続部のパッキンに脱落がないこと
 - （２）ノズル、ノズルパイプに損傷・破損がないこと、また洗浄されているか
 - （３）ホースに亀裂・摩耗・破損がないこと、また洗浄されているか
 - （４）タンクに亀裂、破損がないこと、また洗浄されているか
 - （５）ポンプの作動状態
 - （６）各ネジ部に緩みがないこと
 - （７）背負いベルトに損傷・破損がないこと
 - （８）ハンドル・可動部に損傷・破損がないこと

9. 使用方法

[9-2. 薬液取り扱いの注意]

- 禁止薬剤を使用しないでください（P 11 [禁止薬剤] 参照）。
 - ・故障や事故の原因となり、大変危険です。
- 薬剤については、薬剤の取扱説明書をよく読み、内容を十分に理解したうえで、使用してください。
 - ・取り扱いを誤ると、薬害などの重大な事故の原因となります。
- 調合する際は、必ず薬剤の取扱説明書に従い、正しく希釈してください。
 - ・調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがあります。
- 強酸性の薬剤・塗料・シンナー・ガソリン・などは、絶対に使用しないでください。
 - ・ヤケドや火災の恐れがあり、非常に危険です。
- 必ず、前の薬液を完全に抜き取り、水洗いしてから、新しい薬液を入れてください。
 - ・薬液を混ぜると、化学変化をおこす恐れがあり、非常に危険です。
- 薬液は、絶対に別の容器に移し替えないでください。
 - ・誤飲、誤使用の恐れがあり、非常に危険です。
- 薬液は、必ず他の容器で調合してから、容器に投入してください。
 - ・薬液の散布濃度が不均一になり、薬害を生じる恐れがあります。
- 水和剤を使用するときは、薬剤の取扱説明書に従い、決められた倍率に希釈し、薬剤を別の容器で混ぜたうえで、タンクに入れてください。
 - ・十分に混ざっていないと、噴霧状態が悪くなる恐れがあります。
- 薬剤を選ぶ際は、使用方法・効果を対象物に合わせ、適切な薬剤を選択してください。
 - ・不適切な薬剤選びは、十分な効果が得られなく、思わぬ事故の原因となります。
- 薬液が皮膚についた場合は、薬剤の取扱説明書に従い、適切な処置を施し、必ず医師の相談を受けてください。
 - ・薬液が皮膚につくと、人体に害を及ぼすことがあり、大変危険です。
- 薬剤は有害です。幼児や子供が触れないように保管してください。
 - ・保管については、薬剤の取扱説明書に従ってください。
- 飲食物を、薬剤や本製品と同じ容器で保管しないでください。
 - ・飲食物が汚染され、薬害事故を引き起こす恐れがあります。
- 通気がよく、換気のできる場所で使用してください。
 - ・薬剤を吸い込む危険があります。
- タンクは平面で硬い地面に置いてください。
 - ・周囲に障害となる物、可燃性の液体・ガスがないことを確認してください。
- タンク内は、常にきれいな状態を保ってください。
 - ・異物を吸い込むと、ノズルやホースの詰まりの原因となります。

9. 使用方法

[9-3. 薬液の投入]

●P16 [9-2. 薬液取り扱いの注意]を、よく確認したうえで、タンクに投入してください。

【投入方法】

- 1) キャップを緩めます。



- 2) 調合した薬液を、タンクに投入します。

※必ず、ストレーナーを通して入れてください。薬液に、ゴミや異物が混入しているとノズルやホースの詰まりの原因となります。



必ず、ストレーナーを通して薬液を入れてください。

- 3) キャップを締め付けます。

※キャップは確実に締め付けてください。不十分な締め付けは、タンクが傾いたときに薬液が漏れ出る恐れがあります。



- 4) 薬液投入後は、必ずエア抜きしてください。

・P19 [2. エア抜き] 参照

9. 使用方法

[9-4. 噴霧作業]

■本取扱説明書内では、保護具を着用しておりませんが、実際の作業では、薬液の付着を防ぐため、必ず保護具を着用してください。

危険

- 作業中に、少しでも頭痛やめまい、吐き気などを感じたら、直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。
 - ・医師には、使用した薬剤や使用状況を、詳しく説明してください。
- 薬液噴霧時は、ノズルを人や動物に向けないでください。
 - ・衣服や身体に薬液が付着する恐れがあり、非常に危険です。
- 風が強い場合は作業を中止してください。
 - ・薬液は周辺に飛散する恐れがあり、非常に危険です。
- 作業中は常に風向きを考え、風上から風下に噴霧してください。
 - ・衣服や身体に薬液が付着する恐れがあり、非常に危険です。
- 炎天下の屋外で使用するときは、こまめに休憩や水分補給してください。
 - ・熱中症の恐れがあり、非常に危険です。

1. ベルトの調整

- 背負いベルトに腕を通し、タンクを背負います。
 - ・タンクが背中にぴったり付くよう、背負いベルトを調整します。

【ベルトを短くする】

- ・ベルトの先に付いているリングを引っ張ると、短く調整できます。



【ベルトを緩める】

- ・ベルトのバックルを上げると、ベルトが緩みます。



9. 使用方法

[9-4. 噴霧作業]

2. エア抜き

●薬液投入後は、エア抜きします。

- ・レバーコックを握ったまま、ハンドルを上下に10回程度動かし、ノズルから薬液が出てくるのを確認します。



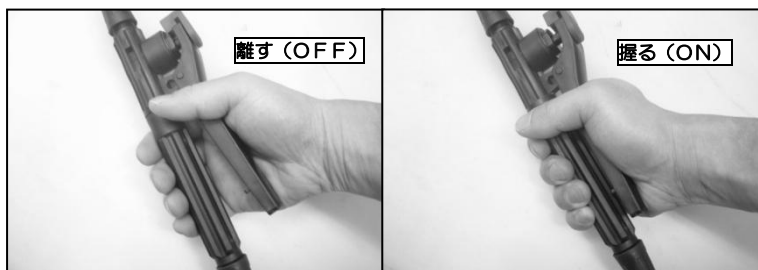
3. レバーコック操作

●レバーコックの操作により、2種類の噴霧方法が行えます。

- ・加圧した状態で、以下の操作をすると、薬液を噴霧できます。

【通常噴霧】

- ・離す (OFF) : 噴霧が停止します。
- ・握る (ON) : 噴霧します。



【連続噴霧】

- ・レバーコックをロックすることにより、連続噴霧が可能です。
- ・レバーコックを握り、ロックボタンをスライドさせます。解除するときは、反対側にスライドさせます。



9. 使用方法

[9-4. 噴霧作業]

4. 噴霧操作

- 1) ハンドルを10回程度上下に動かし、加圧します。
※レバーコックを、握らないでください。
- 2) レバーコックを握り、噴霧を開始します。
・作業内容によって、レバーコックの操作を変えてください。
- 3) 約10秒すると、噴霧が弱くなるので、再度加圧します。
※レバーコックを、握らないでください。
※加圧した状態のまま、長時間放置しないでください。

[9-5 . 洗浄]

 注意	●使用した容器やタンクを洗浄した廃液は、河川へ流入したり、地下水の汚染することのない場所で処理してください。 ・必ず、薬害のない方法で適切に処理してください。
重要	●洗浄する洗浄する際は、必ず清水を使用してください。砂混じりの水は、使用しないでください。 ・故障の原因となります。

- 使用後は、必ず清水で洗浄してください。

※余った薬液がノズルやグリップなどに残っていると、薬害を起こす恐れがあります。

※不浸透性手袋を装着し、清掃作業してください。

【タンク洗浄】

- 1) キャップを緩め、取り外します。
- 2) ストレーナーを、取り外します。
- 3) タンク内の薬液を、排出します。
- 4) タンク内を清水で、きれいにすすぎます。
※洗剤などを使用しないでください。
- 5) 再度タンク内に清水を入れ、2～3分噴霧させます。
・ノズルやホース内に残った薬液を洗い流してください。
※完全に薬液が出終わるまで、噴霧を続けてください。
- 6) ストレーナーを、取り付けます。
- 7) キャップを締め、取り付けます。
- 8) 乾いた布で水気を拭き取り、よく乾燥させます。

9. 使用方法

[9-5 . 洗浄]

【ノズル洗浄】

※加圧されている可能性があります。圧を抜いてください。

- 1) P 1 4 [3. ノズルの交換] を参照し、ノズルを取り外します。
- 2) ノズルを、清水で洗い流します。
- 3) ノズルを、取り付けます。

※ノズルは確実に取り付けてください。

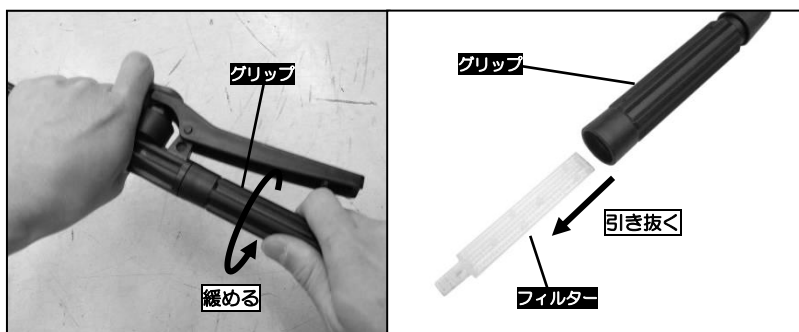
【グリップ洗浄】

※加圧されている可能性があります。圧を抜いてください。

- 1) グリップを緩め、取り外します。
- 2) グリップ内のフィルターを、引き抜きます。
- 3) フィルターを、清水で洗い流します。
- 4) フィルターを、グリップ内に入れます。

※フィルターの向きを、間違えないでください。

- 5) グリップを締め、取り付けます。



【ストレーナー洗浄】

- 1) P 1 7 [9-2. 薬液の投入] を参照し、キャップを取り外します。
- 2) ストレーナーを、タンクから取り外します。
- 3) ストレーナーを、清水で洗い流します。
- 4) ストレーナーを、取り付けます
- 5) キャップを、取り付けます。

※キャップは、確実に締めてください。

10. メンテナンス・保管

[10-1. メンテナンス]

●使用前・使用後には、以下を点検してください。

※異常が確認された場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店へ、相談してください。

- (1) 接続部のパッキンに脱落がないか
- (2) ノズル、ノズルパイプに損傷・破損がないか、また洗浄されているか
- (3) ホースに亀裂・摩耗・破損がないか、また洗浄されているか
- (4) タンクに亀裂、破損がないか、また洗浄されているか
- (5) ポンプの作動状態
- (6) 各ネジ部に緩みがないか、また緩みがある場合は増し締めする
- (7) 背負いベルトに損傷・破損がないか
- (8) ハンドル・可動部に損傷・破損がないか、また可動部へ定期的に潤油を注油する

[10-2. 保管]

 危険	●タンク内に薬液を入れたまま、保管しないでください。 ・使用後は、タンク内の薬液を抜き取り、十分に洗浄してください。 ●薬剤は有害です。幼児や子供が触れないように保管してください。 ・保管については、薬剤の取扱説明書に従ってください。
 注意	●使用しない場合は、施錠のできる場所に保管してください。 ・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。 ●以下の場所には保管しないでください。 ・子供の手が届く場所 ・高温・多湿な場所 ・火気のある場所 ・ホコリが多い場所 ・振動のある場所

1. 保管場所

- ・施錠ができ、清潔な場所に保管する。
- ・屋内で直射日光の当たらない場所に保管する。

2. 保管条件

- ・タンク内に薬液や清水が残ったまま保管しないこと。

11. トラブルシューティング

症状	原因	解決方法
ハンドルを操作しても加圧されない。	ピストンのパッキン損傷	お買い求めの販売店へ、修理の依頼をしてください。
	ホースの詰まり、破損	お買い求めの販売店へ、修理の依頼をしてください。
	レバーコックが、ONになっている。	レバーコックを、OFFにする。
	薬液不足	薬液を補充してください。
	ノズルの詰まり	ノズルを取り外し、洗浄してください。
噴霧しない。 噴霧状態が悪い。	ノズルが緩い	ノズルを、増し締めしてください。
	ノズルパイプが緩い。	ノズルパイプを、増し締めしてください。
	グリップ内の、フィルターの詰まり。	グリップ内のストレーナーを取り外し、洗浄してください。
	ポンプ内にエアが混入している。	エア抜き作業してください。
ハンドル未操作時に、ノズルから液が出てくる。	レバーコックが、ONになっている。	レバーコックを、OFFにしてください。
タンクのキャップから、液漏れ	キャップが緩い。	キャップを増し締めしてください。
	キャップのパッキン損傷	お買い求めの販売店へ、修理の依頼をしてください。

 注意	●解決方法を試しても症状が改善されない場合や、上記以外の症状が確認された場合は、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで、連絡してください。
---	--

1 2. 破棄について

- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの各自治体のゴミ廃棄方法に従って、廃棄してください。
- 使用した容器やタンクを洗浄した廃液は、河川へ流入したり、地下水の汚染することのない場所で、薬害のない方法で適切に処理してください。
- 指定された廃棄方法以外で、本製品を廃棄しないでください。

1 3. 所有者・使用者責任

- 所有者、および使用者は当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）をよく読み、理解しなければなりません。
- 資格を持ち、製品の構造、および構成している部品をよく理解し、十分な経験のある人が責任を持って、当該商品を使用した作業を行うようにしてください。
- 警告事項は、特によく理解するようにしてください。
- 所有者、および使用者は今後の作業のうえで、メーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように努めてください。
- 警告ラベル、説明書については、いつでも読むことができるように、よい状態で保管してください。

1 4. 使用上の注意

- 安全手袋、保護メガネ、耳栓、防塵マスク、安全帽、安全靴、作業服などの安全保護具を着用し、作業してください。
- サイズの極端に大きい衣服・ズボンなど、巻き込みの恐れがある衣服や作業服は着用しないでください。必ず、体に合った作業服を、着用してください。
- 長髪の方は、髪が巻き込まれないよう、束ねたり、帽子を着用してください。
- 作業前に、各部に傷、損傷などがなくよく確認してください。
- 誤った使用方法により商品が破損、人体への損傷、物品などの損害が生じた場合、一切の保証、並びに責務は無効となります。

1 5. 故障について

- 故障と思われる場合には、お手数ですがお買い上げの販売店、または販売元まで、お問い合わせください。
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解、または修理を行わないでください。

16. アフターサービス

[16-1. 個人情報の取り扱い]

- ご提示いただいた、ご住所、お名前などの個人情報は、修理や相談のためのみに、利用させていただきます。
- 個人情報は、適切に管理し、修理業務を委託する場合や、正当な理由がある場合を除き第三者に開示、提供することはありません。

[16-2. お問い合わせ先]

1. カスタマーサービス

- 商品についてのお問い合わせは、下記の番号までご連絡ください。
【TEL】：048-501-7873
【受付時間】：月曜～金曜 10：00～18：00（土・日曜、祝日を除く）

2. 販売元

- 会社名：株式会社ワールドツール
- 住所：〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909-50
【TEL】：048-501-7871
【FAX】：048-501-7872
【ホームページ】：<http://www.astro-p.co.jp/>

※住所・電話番号・受付時間が、予告なく変更になることがありますので、ご了承ください（2013年5月）。

※上記電話番号が利用できない場合は、各地域の販売店へご連絡ください。